

- ボリューム（体積）が大きく取れているか。
- 適切な天空率算定領域が作成されているか。
- 天空率の特性を上手く活用しているか。

第4回天空率チャレンジルール詳細

- 2つの用途地域がある3面接道の敷地 -

基本ルール

- ・ 計画敷地内に最大の体積となるボリュームを計画して下さい。
- ・ 計画可能範囲は計画敷地全体です。
- ・ 建築物としての実現可能性を考慮する必要はありません。
- ・ 計画可能なボリュームの最高高さは100mとします。
- ・ 平面形状が矩形の直方体を最大3個まで配置可能です。
- ・ 矩形の大きさ、配置に制限はありません。
- ・ 直方体の下端は±0で固定、上端は地面と平行とします。
- ・ 直方体同士の重複は不可とします。
- ・ 体積は最終結果の小数点第3位を切り捨てとします。
- ・ 体積の計算過程で端数処理を行う場合は、小数点第4位を切り捨てとします。

※ルールに関するご質問は、ウェブページの天空率チャレンジお問合せフォームよりお願いいたします。



法規について

- ・ 天空率を含む斜線制限（法第56条及び関連政令）以外の法規は考慮しません。
- ・ 上記より、容積率（法第52条）、建蔽率（法第53条）、日影規制（法第56条の2）、高度地区（法第58条）も考慮する必要はありません。
- ・ 用途地域は、計画敷地内に図示の通りです。道路斜線適応距離について、令第130条の11が適応されることに留意して下さい。
- ・ 道路斜線制限に適合する計画として下さい。隣地斜線制限は考慮しません。

天空率の取り扱いについて

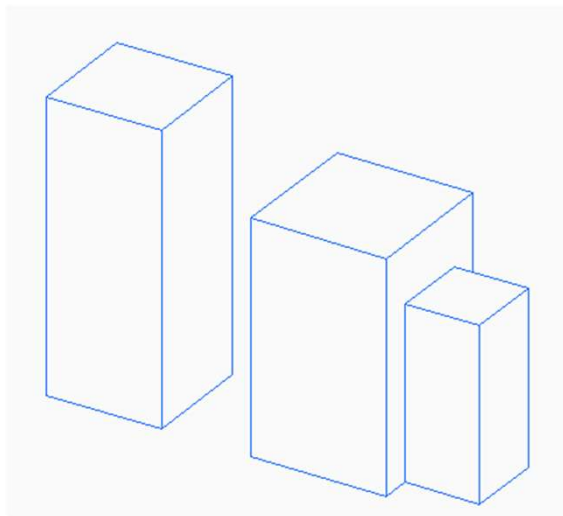
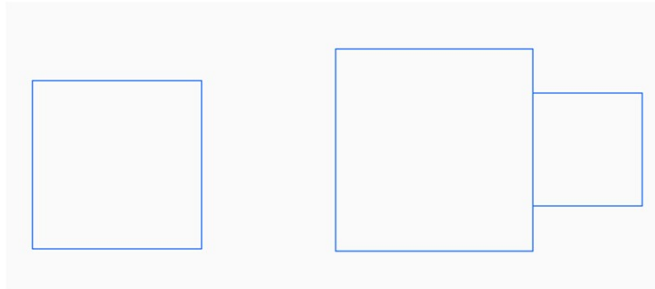
- ・ 天空率の方式はJCBA方式とします。
- ・ 適合建築物の後退距離の指定はありません。
- ・ 安全率はシステム計算において0.02%以上とします。

提出物

- ADSシリーズ（ADS-win、ADS-LAX、ADS-LA）利用者：ADSデータ(.adsf)
- ADS-BTシリーズ（for ARCHICAD、for Revit、for VECTORWORKS）：各BIMデータ(.pln、.rvt、.vwx)
- その他のソフト利用者：平面図、配置図、計算結果、をPDFにて提出（別PDF参照）

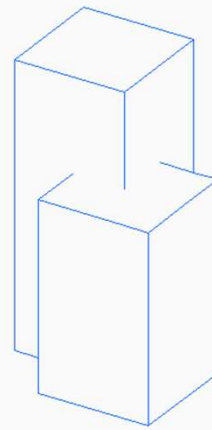
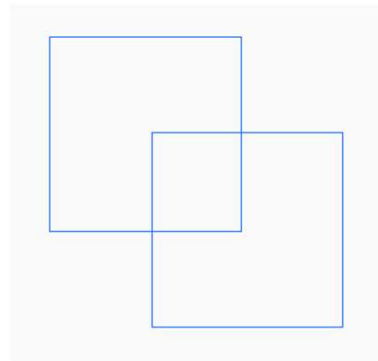
OK

直方体は離れていても、
面が接していても可です。



NG 矩形の重複、直方体の上に直方体は不可

重複



直方体の上に直方体

